本人・家族・まわりの人の安心と笑顔を地域でサポートする

西目屋村 の 認知症ケアパス

みんなで知ろう！ 身近な認知症

（記載内容）

1．認知症とはどんな病気？ …… 1
（1）認知症は脳の病気です
（2）普通のもの忘れと認知症の違い
（3）認知症の種類と特徴
（4）認知症と間違えやすい病気に注意

2．早めの相談や受診が大切です！ …… 4
（1）早く気づくことの3つの利点（メリット）
（2）日ごろから観察しましょう
（3）自分でやってみよう！認知症予測テスト

3．認知症の人の気持ちは …… 5

4．認知症の人との接し方は？ …… 5
（1）対応の心得
（2）望ましい　接し方
（3）望ましくない　接し方
（4）こんな時はどうする？

5．認知症（もの忘れ）は、どこに相談したらいいの？ …… 6
（1）認知症について相談したい
（2）自分が認知症かどうか知りたい
（3）65歳未満で認知症が気になる方の相談窓口は？
（4）悪質商法の被害にあってしまったので相談したい

6．認知症になりたくない人が実践していることは …… 8

7．ケアパス …… 10

8．津軽地域　認知症協力医療機関ステッカーとは …… 11

（ 31.3月 改訂版 ）

1．　認知症とはどんな病気？

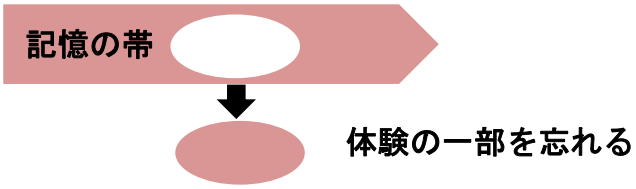
（1）認知症は脳の病気です

年を取れば誰でももの忘れなどをするようになりますが、認知症は老化でなく、脳の病気です。記憶や思考など能力が少しずつ低下して、日々の生活に支障が出るようになります。原因となる脳の病気や障害が出る脳の部位などによってさまざまな種類や症状があります。

（2）普通のもの忘れと認知症の違い

加齢による普通のもの忘れと認知症によるもの忘れは違います。例えば、朝ごはんに何を食べたか思い出せないといった体験の一部を忘れるのは普通のもの忘れですが、朝ごはんを食べたこと自体忘れてしまう場合は認知症が疑われます。

普通のもの忘れ

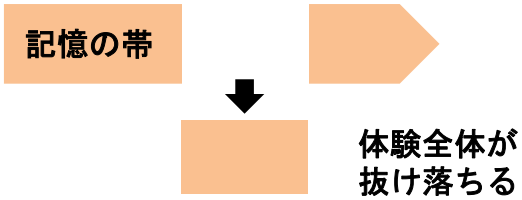


- 体験や出来事の一部を忘れる。
- ヒントがあれば、忘れた部分を思い出す事が出来る。
- もの忘れをしている自覚がある。
- 人や場所はわかっている。

↓

日常生活に大きな支障はない

認知症によるもの忘れ



- 体験や出来事すべてを忘れる。
- ヒントがあっても思い出せない。
- もの忘れの自覚がない。
- もの忘れが頻繁におこる。
- 人や場所もわからなくなる。

↓

日常生活に支障が出る

※これらはあくまで目安です。当てはまらない人もいます。

（3）認知症の種類と特徴

認知症の原因となる脳の病気には、さまざまな種類があり、次の４つが代表的なものです。

アルツハイマー型認知症

一番多い認知症。脳の変化は症状が出る何十年も前から起きており、徐々に進行する。

（症状や傾向）
- 女性に多い。
- もの忘れの自覚がなくなる。
- 人格が変わることがある。
- ゆっくり症状が進行する。

血管性認知症

脳梗塞や脳出血等の病気で病変部分の脳細胞の働きが失われる事で発症。脳梗塞の再発等で症状が段階的に進む。

（症状や傾向）
- 男性に多い
- 意欲が低下しやすい。
- 片麻痺や言語障害などがある。

レビー小体型認知症

脳にレビーというたんぱく質が蓄積されて発症。生々しい幻視があらわれるのが特徴です。

（症状や傾向）
- 手足の震えや筋肉の硬直で転倒しやすい。
- 夜中に夢を見て騒ぎ立てる。
- そこにいない人や動物などの幻視がはっきりとあらわれる。

前頭側頭型認知症

脳の前頭葉や側頭葉が萎縮して発症する。理性や感情がコントロール出来なくなり、常識を逸脱した言動がある。

（症状や傾向）
- 同じ言動を繰り返す。
- 興味や関心が薄れやすい。
- 万引きや信号無視など社会ルールに違反したことをする。

その他の認知症として、クロイツフェルトヤコブ病、AIDS（エイズ）などの感染症やアルコール中毒が関係するものもあります。

（４）認知症と間違えやすい病気に注意

認知症と似た症状から間違われやすい病気に、「うつ病」や「せん妄」があります。治療法や対処法は異なるため、正しく区別することが重要です。

●憂うつ、気分が落ち込んだ状態が２週間以上続く「うつ病」

一般的に、うつ病とは、何かの原因がきっかけとなって、気分が沈んで元気が出なくなり、物事に取り組む意欲が失われていく心の病気です。高齢者の場合は、自分や身近な人の病気や経済的な不安などからストレスを抱えやすく、それがうつ病の誘因になることが多く見られます。

うつ病は早い段階でその芽をつんでしまえば、病気を防ぐことも可能で、適切な治療を受ければ治る病気です。

しかし、風邪などと違い、うつ病は一見してそれとわかる病気ではないので、周囲の人が気づきにくく、自分でもなかなか判断できないものですが、症状が出ないわけではありません。

うつ病の初期症状は、精神面だけでなく、身体面にも現れます。精神面では、感情が揺れ、意欲や集中力が低下し、思考が鈍ります。一方で身体面では、頭痛や消化不良から睡眠障害まで全身に症状が出てきます。特に、高齢者の方は認知機能の低下も見られます。

うつ症状が気になる方は、ひとりで抱え込ますに、村保健師に相談ください。また、下表のこころの悩み相談窓口もご利用ください。

うつ病の自己診断チェックシート（東邦大式）は３ページに記載します。

【こころの悩み相談窓口一覧】

悩みごと	相談窓口	電話番号	受付時間等
死にたいくらい、つらい…	NPO 法人 青森いのちの電話相談	0172-33-7830	毎日 12:00～21:00
	県民のための自殺予防 いのちの電話	0120-063-556	毎月1日 12:00～21:00 （無料）
	自殺予防いのちの電話 （社会福祉法人いのちの電話）	0120-738-556	毎月 10 日 8:00～翌日 8:00 （24 時間無料）
眠れない… ひどく落ち込む… これってうつ？	青森県立 精神保健福祉センター （こころの電話）	017-787-3957 017-787-3958	9:00～16:00 土日祝日、年末年始除く
	弘前保健所	0172-33-8521	毎月第2木曜日 13:00～14:00 ※ただし偶数月は第3火曜日も実施。

●意識障害が原因で起こる「せん妄」

病気によって、体調不良になると意識が障害され、つじつまの合わない言動・記憶障害・幻覚などが現れることがあります。認知症と違って発症時期がはっきりしており、症状も日によって変わります。適切な治療で改善します。

●疾患（脳腫瘍等）の影響で認知症に似た症状がでる場合も

脳腫瘍・慢性硬膜下血腫、甲状腺疾患の影響で、認知症に似た症状が現れることがあります。これらの疾患は治療をすることで症状は改善します。

●薬の影響で認知症に似た症状がでる場合も

持病などの薬の影響で、認知症に似た症状が現れることがあります。正しく薬を服用していても、飲み合わせによっては起こることもあるので、複数の医療機関に通院されている方は同じお薬手帳を出すようにしましょう。

うつ病の自己診断チェックシート（東邦大式）

軽症うつ病の発見の手がかりの一つとして行う簡易テストです。
該当する項目に○印を記入（質問２，４，６，８，１０，１２に加点はしない）

質問	いいえ ０点	はい 時々 １点	はい しばしば ２点	はい つねに ３点	得点
①体がだるく疲れやすいですか					
②騒音が気になりますか					
③最近気が沈んだり気が重くなることがありますか					
④音楽を聞いて楽しいですか					
⑤朝のうち特に無気力ですか					
⑥議論に熱中できますか					
⑦くびすじや肩がこって仕方がないですか					
⑧頭痛持ちですか					
⑨眠れないで朝早く目ざめることがありますか					
⑩事故やけがをしやすいですか					
⑪食事が進まず、味が感じないことがありますか					
⑫テレビをみて楽しいですか					
⑬息がつまって胸苦しくなることがありますか					
⑭のどの奥に物がつかえている感じがしますか					
⑮自分の人生がつまらなく感じますか					
⑯仕事の能率があがらず何をするのもおっくうですか					
⑰以前にも現在と似た症状がありましたか					
⑱本来は仕事熱心で几帳面ですか					

判定（合計得点）

10 点以下	ほとんど問題なし
11～15 点	境界領域です。 症状が気になる方は、村保健師もしくはかかりつけ医、前ページ記載のこころの悩み相談窓口へ相談してください。
16 点以上	軽いうつ病かもしれません。 まずは、村保健師もしくはかかりつけ医、前ページ記載のこころの悩み相談窓口へ相談してください。

2. 早めの相談や受診が大切です！～認知症の症状を覚えよう～

認知症はめずらしい病気ではなく、***どなたでも起こり得る病気***です。
時間とともに進行する病気だからこそ、早く気づくことが大切です。

（1）早く気づくことの3つの利点（メリット）

（利点1） 治療で改善が期待できる	（利点2） 今の状態を維持できる	（利点3） 事前に準備ができる
認知症の原因になる病気は様々ですが、早期に発見して早期に適切な治療をはじめることで、年齢相応まで改善が期待できるものがあります。	症状が悪化する前に適切な治療やサポートをすることで今の状態を維持し、進行のスピードを遅らせることができる場合があります。	本人や家族が話し合って治療方針を決めたり、利用できるサービスを調べたりして「認知症に向き合う準備」を整える事ができます。

（2）日ごろから観察しましょう！

本人だけでなく、家族など周囲の人も*「今までと違う」*と感じることがあったら、その変化を見逃さないようにしましょう。

本人の気づきの例

- □直前にしたことや話したことを忘れてしまうようになった。
- □置き忘れやしまい忘れなどで、探し物をすることが増えた。
- □知っている人や物の名前が出てこなくなった。
- □少し複雑な話になると理解できなくなった。
- □日付や曜日を間違えたり、慣れた道で迷うようになった。
- □今まで出来ていた家事・計算・運転などのミスが増えた。

家族など周囲の気づきの例

- □同じ事を何度も言ったり、尋ねたりするようになった。
- □今まで好きだった趣味などへの興味や関心がなくなった。
- □おしゃれや清潔感など身だしなみに気を遣わなくなった。
- □つじつまの合わない作り話をするようになった。
- □ささいなことで怒りっぽくなった。
- □財布が見当たらないときなど、盗まれたと人を疑うようになった。
- □複雑な話が理解できず、わずかな変化に対応できなくなった。

（3）自分でやってみよう！認知症予測テスト

このテストは、認知症のごく初期、認知症の始まり、あるいは認知症に進展する可能性のある状態を、本人や家族などが簡単に予測できるように考案されたものです。下記のような症状がないか、チェックしてみましょう。該当する項目に○をつけてください。

質問項目	ほとんどない	ときどきある	頻繁にある
同じ話を無意識に繰り返す	0点	1点	2点
知っている人の名前が思い出せない	0点	1点	2点
物のしまい場所を忘れる	0点	1点	2点
漢字を忘れる	0点	1点	2点
今しようとしていることを忘れる	0点	1点	2点
器具の説明書を読むのを面倒がる	0点	1点	2点
理由もないのに気がふさぐ	0点	1点	2点
身だしなみに無関心である	0点	1点	2点
外出をおっくうがる	0点	1点	2点
物（財布など）が見当たらないことを他人のせいにする	0点	1点	2点
合計点数		点	

認知症予測テストの合計点はいかがでしたか？

0～8点	正常	もの忘れも老化現象の範囲内。疲労やストレスによる場合もあります。８点に近い場合は、気分の違う時に再チェックを。
9～13点	要注意	家族に再チェックしてもらったり、数か月単位で間隔を置いて再チェックを。認知症予防策を生活にとりいれましょう。
14～20点	**要診断**	**認知症の初期症状が出ている可能性があります。家族にも再チェックしてもらい、結果が同じなら、西目屋村地域包括支援センター（☎85-2804）もしくはかかりつけ医へご相談ください。**

※認知症予防財団HPより抜粋「大友式認知症予測テスト」

3．認知症の人の気持は？

たとえ病気の自覚がなくても、**認知症の人の多くは「自分に何か異変が起きている」と気づいており**、次のような思いを抱えています。きつい言葉や対応はひかえましょう

不安な気持ち
「自分に何が起きているのか」
「この先どうなるのか」

申し訳ない気持ち
「家族に迷惑をかけている」
「もっと役に立ちたい」

悔しい気持ち
「何でこれが出来ないのか」
「みんなからバカにされる」

4．認知症の人との接し方は？

（1）対応の心得

①驚かせない
②急がせない
③自尊心を傷つけない
④見守る
⑤余裕を持って対応する
⑥声をかける時は１人で
⑦後ろから声をかけない
⑧相手に目線を合わせてやさしい口調で
⑨おだやかに、はっきりした話し方で
⑩相手の言葉に耳を傾けてゆっくり対応する

（2）望ましい 接し方

①出来ない事を責めない、出来ることをほめる。
②失敗を避けるためにやらせないのではなく、失敗しないよう手助けする。
③なるべくポジティブになれる声がけをする。
④笑顔で接しお互い気持ちよくなる事を増やす。
⑤本人の希望や意志・ペース・長年の習慣などを尊重する。
⑥少しでも家庭や社会での役割を担ってもらう。

（3）望ましくない 接し方

①叱りつける　②命令する　③強制する　④子供扱いする
⑤急がせる　⑥何もさせない　⑦役割を取り上げる

（4）こんな時はどうする？～6つの具体的な対応例～

食べたはずなのに「ごはんまだ？」
↓
「もう少し待って下さい」などと伝えて別の事をしてもらう事で関心をそらしましょう！ちょっとした」間食を用意してあげるのもいい案です。

「同じ事を何度も」話しかけてくる
↓
同じ質問を何度もされたり、同じ内容の話を繰り返されたりしても、初めてされたつもりで丁寧に対応しましょう。時間がない時は「後でゆっくり聞かせて」と事情を話しましょう。

家族に向かって「誰ですか？」
↓
人間関係がわからなくなり、家族を他の誰かと間違えたり、知らない人と思うことがあります。感情的にならず本人を混乱させないために、時には別人を演じてみましょう。

急に興奮して攻撃的になる
↓
認知症の人は周囲が思う以上に日々ストレスがたまっており、ちょっとした事がきっかけでイライラが爆発します。怒りの理由をたずね、こちらに非があれば謝りましょう。

財布などなくして「盗まれた」
↓
身近で介護する家族などが犯人として疑われます。訴えに耳を傾けて一緒に探しながら関心を他にそらしましょう。また探し物は本人が見つけられるようにしましょう。

「徘徊して迷子に」なってしまう
↓
周囲にとっては徘徊でも、本人は昔の習慣から「会社に行く」など目的をもって外出します。外出の理由を尋ね本人の思いにそって同行したりひきとめたりしましょう。

4．認知症（もの忘れ）は、どこに相談したらいいの？

（1）認知症（最近もの忘れが気になる）について相談したい

相談窓口	備考
皆さんの**かかりつけ医**	まずは、身近なかかりつけ医に相談しましょう。 ※ **津軽地域 認知症協力医療機関ステッカー** に注目！（11 ページを参照ください）
西目屋村**地域包括支援センター**（役場住民課内）	**初期集中支援チーム**（包括専属職員・村保健師・必要時認知症サポート医）が対応します。
弘前愛成会病院 認知症疾患医療センター **精神保健福祉士による認知症相談**	まずは電話で相談ください。 相談日　月～金曜日　９：００～１７：００ フリーダイヤル　０１２０－０８５－２５５ 相談の結果、受診の必要があれば、医師診察日等を決定します。
藤代健生病院 **認知症認定看護師による認知症相談**	まずは電話で相談日の予約を取ってください。 相談日　第１・３木曜日予約制 電　話　３６－５１８１

（２）自分が認知症かどうか知りたい（認知症に関する専門医療機関等の紹介）

認知症専門医療機関等	初診時の予約	電話	住所（弘前市）	認知症サポート医
石澤内科胃腸科	不要	34-3252	新町 151	石澤　誠
伊藤内科・小児科クリニック	不要	32-0630	扇町 2-2-12	伊藤　重豪
健生クリニック	要	55-7707	扇町 2-2-12	飯田　寿徳
下田クリニック	不要	27-2002	城東中央 4-1-3	下田　肇
すとうクリニック	不要	32-8696	悪戸字青柳 10－4	須藤　武行
聖康会病院	不要	27-4121	和泉 2-17－1	―
弘前大学医学部付属病院 神経内科 もの忘れ外来（毎週水曜日）※かかりつけ医からの紹介が必要	要	33-5111	本町 53	―
弘前愛成会病院 もの忘れ外来	要	34-7111	北園 1-6-2	田﨑　博一
弘前小野病院 担当医：小野浩嗣　※レビー小体型認知症、前頭側頭型認知症、ピック病、他認知症の診断可	要	27-1431	和泉 2-19-1	―
藤代健生病院 もの忘れ外来（第 1/第３木曜日）	要	36-5181	藤代 2-1	牧口　幸一

（３）６５歳未満で認知症が気になる方の相談窓口は？

働き盛りの世代に起こりうる「若年性認知症」について、専門的教育を受けた相談員が支援を行います

①若年性認知症コールセンター
☎０８００－１００－２７０７
月曜日～土曜日　午前１０時～午後３時
※日曜日祝日及び年末年始を除く

②青森県若年性認知症総合支援センター
☎０１７８－３８－１３６０
月曜日～木曜日　午前９時～午後１６時
※日曜日祝日及び年末年始を除く

（４）悪質商法の被害にあってしまったので相談したい

被害にあったり、不安を感じた時は、一人で悩まずすぐに相談してください。

●青森県消費生活センター
☎０１７－７２２－３３４３（相談専用電話）
月曜日～金曜日　午前９時～午後５時３０分
土日祝日　午前10時～午後４時　※年末年始を除く

5.　認知症に なりたくない人 が実践していることは？

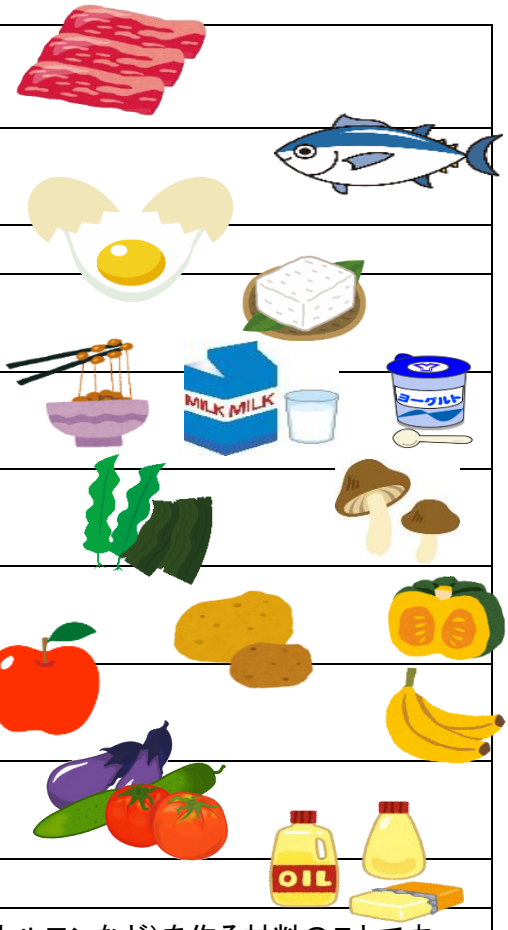
（1）次にチェック✔が入る人は、認知症の発症率は高いです、、、、。

- ☑あまり食べない、もしくは食べ過ぎている
- ☑食べ方を気にしない
- ☑歯と歯茎、入れ歯のお手入れが十分でない
- ☑あまり体を動かさない
- ☑趣味がない

（2）認知症になりたくない人が実践している４つの行動

行動①　食べるときに次のことに気を付けている	
塩分を控える	・味付けを薄くする　・漬物を控える ・みそ汁は1日1杯　・麺類の汁を残す
野菜、特に食物繊維を先に食べる	・血糖値の急激な上昇をおさえます ・コレステロールが吸収されにくくなります ・満腹感が増し、肥満防止につながります
よく噛んで食べる	・よく噛んで食べ、噛む力を維持しましょう ・1口30回以上を目安にしましょう ・脳の血流量が増えます
1日 10品目 をバランスよく食べる	1日に、10品目を食べれなかった場合は、その品目をできるだけ次の日に食べるようにしましょう

たんぱく質を多く含む品目	1	肉	牛肉　豚肉　鶏肉　ハム ウインナー　ベーコン
	2	魚介	魚全般　干物　いか えび　かに　たこ
	3	卵	卵
	4	大豆 大豆製品	大豆　枝豆　豆腐　油揚げ 納豆　豆乳
	5	牛乳 乳製品	牛乳　チーズ　ヨーグルト
たんぱく質を効率よく動かす品目	6	きのこ 海藻	しいたけ　えのき　なめこ ひじき　のり　昆布　わかめ
	7	いも	じゃがいも　里芋　長芋 かぼちゃ　さつまいも
	8	果物	りんご　みかん　バナナ いちご　梨　ぶどう
	9	野菜	ほうれん草　にら　トマト 人参　ピーマン　春菊
	10	油	サラダ油　ごま油　バター



たんぱく質は、カラダ（筋肉、内臓、皮膚、髪、骨、歯、血液、ホルモンなど）を作る材料のことです

行動②　歯と歯茎、入れ歯のお手入れを 毎日 している

⬇

「歯や歯茎、入れ歯の不調」 は 「全身の不調」 につながります

原因	どうなる	危険（リスク）
・きちんと食べられない（痛くて食べられない、食欲がない） ・口腔内が乾燥している	・栄養摂取量低下（低栄養） ・様々な身体機能低下（筋力、判断能力など） ・口腔機能低下（飲み込みが悪くなる、口臭、味をきちんと感じられず濃い味付けを好む） ・活動量低下など	・認知症発症 ・転倒、骨折による寝たきり ・閉じこもり ・誤嚥性肺炎 ・**糖尿病等の疾患の悪化**など

行動③　よく体を動かす

⬇

体を動かしている方は、認知症を発症しにくいデータがあります

・**筋肉**を鍛えることが大事です！特に**スクワット（太ももを鍛える）**がオススメ。

・お風呂に入っている時や農作業の休憩時にストレッチをしましょう。

※１０時と１５時に放送しているラジオ体操を活用しましょう。

・運動効果抜群のウォーキング方法

（電柱の間隔を活用し、スピードを変える）

電柱 →（①普通に歩く）→ 電柱 →（②早く歩く）→電柱 →（①）→【繰り返す】

※詳しくは、役場保健師へ確認ください。

行動④　集まりがあれば参加しましょう！

⬇

頭を使って脳に刺激を与える生活をしましょう。
思考力や想像力を刺激する生活を心がけましょう。

・いつでも外出できるように、起きたら着替え、身だしなみを整えましょう。

・新聞を読むなどの情報収集をして、たくさんお話しをしましょう。

・囲碁や将棋、トランプ、麻雀などのゲームを楽しみましょう。

・毎日の献立を考え、食材の購入、調理の手順、食卓への配膳までイメージしたうえで、お料理をしましょう。

・旅行の計画を立てて実行しましょう。

・趣味や創作活動しましょう。

・地域の活動やボランティア活動、介護予防教室などに参加してみましょう。

6. ケアパス

ここには、認知症の半数を占めるアルツハイマー型認知症の場合を中心に、本人の症状の変化や知っておきたい情報（医療・介護など）を大まかに記載しました。症状には個人差があり、全ての方にあてはまるものではありませんが、参考にしてください。認知症に対して、適切な対処方法を知っておくことは、認知症の人の理解やケアに役立ちます。

認知症の度合い	あれ？物忘れかな 認知症の疑い	そろそろ誰かの見守りが必要 認知症を有するが日常生活は自立	誰かの見守りがあれば日常生活は自立	日常生活に手助け・介護が必要	常に手助け・介護が必要
本人の様子	**○物忘れ** **○同じことを繰り返し聞く** **○片付けが苦手になる** **○物がなくなる** **○外出がおっくうになる**	**○小銭で払うのが苦手になる** **○探し物をする時間が増える** **○食事の支度が一人では難しい** **○火の消し忘れ** **○金銭の管理や支払が難しくなる**	**○薬を間違えて飲む** **○たびたび道に迷う** **○季節にあった服が選べない** **○家電の操作が難しくなる** **○生活リズムが乱れる**	**○トイレの場所がわからない** **○道に迷って帰ってこれない** **○日にちや季節がわからなくなる** **○洋服の着かたがわからない**	**○自分で食事ができなくなる** **○言葉によるコミュニケーションが難しい** **○歩行が困難** **○起き上がるのに介助が必要**
家族の気持ちと対応	認知症は家族のかかわり方や環境により、本来の変化は人それぞれです	**悩みを打ち明けられないで一人で悩んでしまいがち** ⇒抱え込まずに相談することが大事。家族の病気への理解が、今後の認知症状に大きく影響する	**本人の失敗が増え、介護疲れを感じる** ⇒介護サービス等を利用し、自分のリラックス時間も大切にする	**最後の過ごし方や看取りが心配** ⇒元気なうちに本人の意向を確認する。エンディングノート等を活用する	
本人・まわりがやっておきたいこと 決めておきたいこと	★友人や地域のつながりを大切にしましょう ★今までやってきたことをやめずに続けましょう（老人クラブ・地域活動等）	★周りの人に相談してみましょう ★一日の計画を立てて行動してみましょう ★元気なうちから生前整理に取り組みましょう ★外出の機会を持ちましょう ★本人の話しをじっくり聞きましょう	★一人で行うのが難しいことはまわりの人に手伝ってもらいましょう ★今まで通り、外出したり人に会う機会を持ちましょう ★将来に備えて成年後見制度等の利用について検討しましょう	★本人の「得意」を生かし、その人らしい生活をいかにして送っていくのかを考えていきましょう ★介護サービスなどを利用してお互いリラックスできる時間を持ちましょう ★施設での生活を希望する場合はいくつか施設を見学しておきましょう	

認知症の人や家族を支援する体制			
相　談		認知症かも！？と思ったら、村地域包括支援センター（初期集中支援チーム）、かかりつけ医、認知症疾患医療センター等へ相談しましょう。（６ページ参考）	
予　防		介護予防教室（いきいき広場）・生きがいデイサービス・老人クラブ・サロン活動など	
医　療		かかりつけ医、認知症専門医療機関（**７ページ参考**）	
介護	通う場所	デイサービス、通所リハビリ	
	家事や介護の手助け	訪問介護、訪問リハビリ、訪問看護、ショートステイ、小規模多機能型居宅介護	
生活支援	地域で見守る	社会福祉協議会、地域見守り隊（３６事業者・村民）、民生児童委員、認知症サポーター、認知症地域支援推進員ほか	
	その他の事業	福祉安心電話の貸し出し、あんしん配食サービス、成年後見制度	
施設に入所する		サービス付高齢者住宅 介護付有料老人ホーム	認知症グループホーム（ユートピア白神）、介護老人保健施設、特別養護老人ホーム（白神荘等）

津軽地域　認知症協力医療機関ステッカー

津軽地域では、
弘前愛成会病院認知症疾患医療センターが取りまとめをしている
認知症の協力医療機関の窓口等に

津軽地域　認知症協力医療機関ステッカー

が貼られています。お気軽にご相談ください。